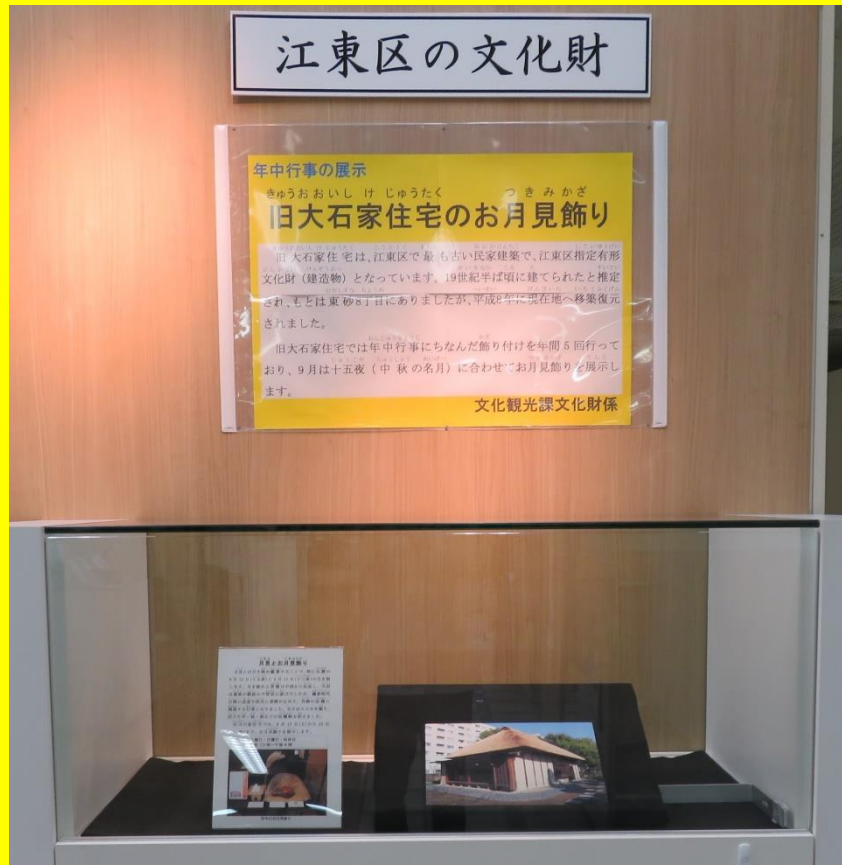


年中行事の展示

きゅうおおし け じゅうたく つきみかざ 旧大石家住宅のお月見飾り

きゅうおおし け じゅうたく こうとうく もっと みん かけんちく していゆうけいぶん かざい けんぞうぶつ
旧大石家住宅は、江東区で最も古い民家建築で、江東区指定有形文化財（建造物）となっ
ています。せいきなか ころ た すいてい ひがしすな ちょうめ へいせい
19世紀半ば頃に建てられたと推定され、もとは東砂8丁目にありましたが、平成8年に
げんざいち いちくふくげん
現在地へ移築復元されました。

ねんじゅうぎょうじ かざ
旧大石家住宅では年中行事にちなんだ飾り付けを年間5回行っており、9月はじゅうごや ちゅうしゅう
めいげつ
（名月）に合わせてお月見飾りを展示します。





ぎゅうおおいし け じゅうたく
旧大石家住宅

つきみ つきみかざ 月見とお月見飾り

つきみ なが かんしょう
月見とは月を眺め鑑賞することで、特に旧暦の8月15日(十五夜)と9月13日(十三夜)の月を指します。月を眺める習慣は中国から伝来し、当初は貴族の歌詠みや管弦の遊びでしたが、かまくらじだいこう ぶ け しょみん
鎌倉時代以降に武家や庶民に習慣が広がり、さくもつ しゅうかく かんれん ぎょうじ
作物の収穫に関連する行事となりました。当日はススキを飾り、だんご いも かき くり しゅうかくぶつ そな
団子や芋・柿・栗などの収穫物を供えました。

きゅうおおいしけじゅうたく
旧大石家住宅では、9月13日(土)から23日(火・祝)まで、つきみかざ てんじ
お月見飾りを展示します。

開館日：土曜日・日曜日・祝休日

開館時間：午前10時～午後4時



昨年のお月見飾り